

県本部・活動拠点本部会議(8月10日・朝)議事要旨

1. 全体報告および連絡事項

- DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）等との連携：
 - 昨日、本部へDHEATが訪問。避難所の運営体制や情報の伝達ルート、福祉チームの活動内容が行政職員（市町村役場）に十分理解されていないという共通課題を確認。
 - DHEATがDWAT等の会議・打ち合わせに同席し、活動状況や課題を取りまとめて本部や各市役所・町役場へ繋ぐスキームを提案・調整中。
 - 本日～明日頃に各拠点へDHEATが訪問予定。保険師や医師を中心とした行政とのつなぎ役となるため、積極的な情報提供・連携を呼びかけ。

2. 在宅・高齢者等状況把握事業

- 事業の決定・予算化状況：予算化調整中のため公式な発表は準備中だが、実動ベースでは動き始めている。
- 地域別の進捗状況：
 - 氷川町：ケアマネジャー協会が入り、地域内の全戸訪問を実施する方向で調整・始動中。
 - 八代市：市役所が75歳以上の高齢者のみ世帯（単身・夫婦等）のデータを抽出・提供し、ケアマネジャー協会が訪問・巡回中。
 - 宇城市：社会福祉士会等の他団体も含めて調整中。市役所側で対象者の抽出・マンパワー等により一部混乱が見られるため、本日も引き続き調整を実施。
 - 美里町 / 宇土市：今回の高齢者把握事業の対象には入らない予定（自治体判断等）。
- 今後の連携・情報共有：
 - 避難所から在宅へ戻るフェーズ（出口支援）を見据え、ケアマネジャー協会や社協等との連携会議や顔合わせの場を設ける方向で県庁・関係機関と調整を継続。

3. 各拠点の活動報告および本日の予定

【八代拠点】

- ・ 新規取り組み：鏡コミュニティセンターに相談コーナー等を開設できないか検討中（本日現地を確認予定）。
- ・ 避難所対応：アリーナ内廊下で滞在している避難者の整理・対応。
- ・ 応援受け入れ：福岡県チームの支援を受け、相談コーナーの運用を担当。
- ・ ラピッドアセスメント：引き続き実施中。
- ・ 「太陽の里」の体制：福岡県 DWAT および八代市職員 2 名、ジャパンハート 1 名が夜勤・配膳支援を実施。

【氷川拠点】

- ・ 生活環境改善：昨日よりシャワーとラジオ体操を実施（午前中にシャワー対応予定）。
- ・ 個別の訪問・アセスメント：
 - 午後より東小学校にいる認知症避難者アセスメントを実施予定。
 - 西小学校のペット避難所に滞在している高齢者・知的障害者へのフォロー（トイレ改善およびアセスメント）。
- ・ 応援体制：長野県 DWAT チームが到着。3 県（関係自治体）で連携して支援を進める。
- ・ 相談窓口：環境が整い次第、相談コーナー（窓口）を開設予定。

【宇城拠点】

- ・ 避難所・在宅情報の集約：
 - 美里町の避難所集約の動きや、在宅の支援ニーズに関する情報を収集。危機管理課・福祉課・地域包括支援センター等の動きを確認。
 - 包括支援センターでピックアップされた約 100 件の未対応リストについて、役所・保健師と再度整理・共有を実施。
- ・ ラピッドアセスメントの更新：
 - 環境改善（ダンボールベッド等の導入）や福祉的配慮が進んだ避難所について、評価を「高リスク（赤）」から適切に更新（引き下げ）できるよう自治体と協議。

- 体制強化：山口県（本日 5 チーム）、沖縄県（明日・明後日 6 チーム）の応援が入るため、美里町や八代・氷川への応援・バックアップ体制を検討。

4. 全体協議・確認事項

- ラピッドアセスメント（簡易アセスメント）の扱いと運用
 - 入力代行：現場の負担軽減のため、ラピッドシートの写真を撮影して本部に送信すれば、本部で代行入力が可能。
 - 現場判断との連動：ラピッドの評価結果（「毎日巡回」等）はあくまで参考指標。運営体制や現場の実際のニーズを踏まえ、優先順位や巡回体制は現場の専門的判断を優先して組み合わせる。
 - 都度更新の重要性：環境改善やフェーズの変化に合わせて更新を行わないと評価（レッド等）が残ってしまうため、定期的な評価の見直し（再アセスメント）を行う。
- フェーズの変化と「出口」を見据えた支援
 - 災害発生から時間が経過し、「出口（避難所から在宅復帰・次なる住まいへの移行）」を見据えたアセスメント・支援を行うフェーズに入っていることを全員で再確認。
 - 避難者の移行先、要介護度、担当ケアマネジャー等の情報を適切に把握・整理し、個々の事情に応じた具体的なアプローチ・多職種連携を進めること。